

## 《 参 考 资 料 》

## I. 仕様書の様式

### ①仕様書例1（枯殺竹の伐採・搬出）

# 仕 様 書

#### 1. 工 事 名

生物多様性研究ゾーン枯殺竹の伐採・搬出

#### 2. 工事場所

九州大学伊都キャンパス生物多様性研究ゾーン（付図参照）

#### 3. 工事数量

枯竹伐採 500 m<sup>2</sup>

小切り、小運搬 500 m<sup>2</sup>

作業道再整備 50m

#### 4. 完了期限

平成 24 年 3 月 31 日

#### 5. 契約事項

九州大学が定めた契約基準による。

#### 6. 代金の支払い

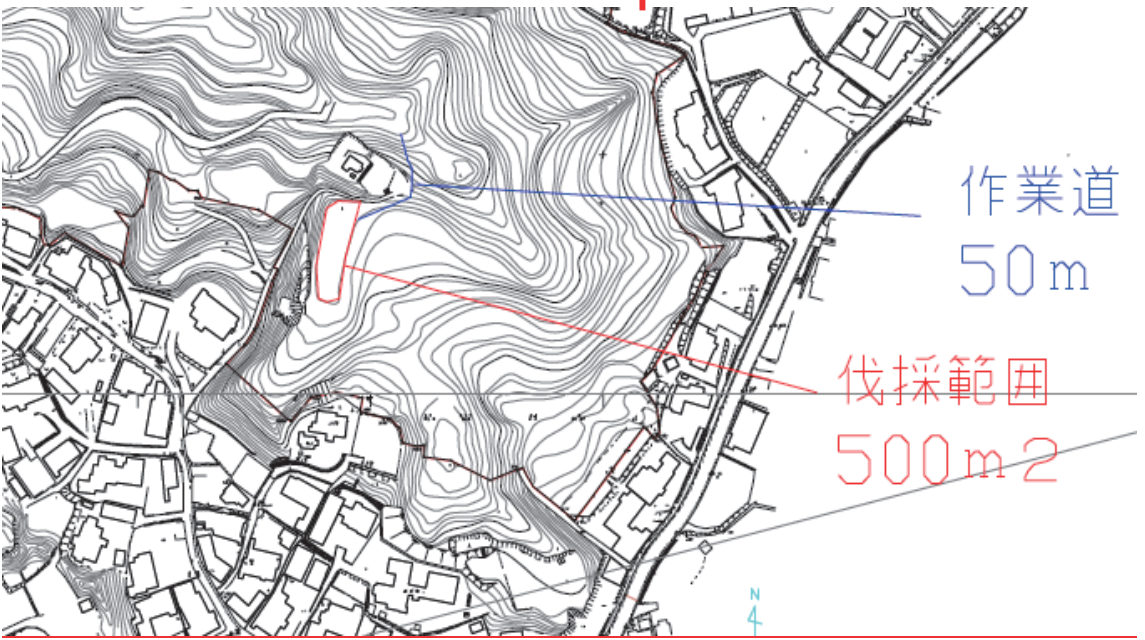
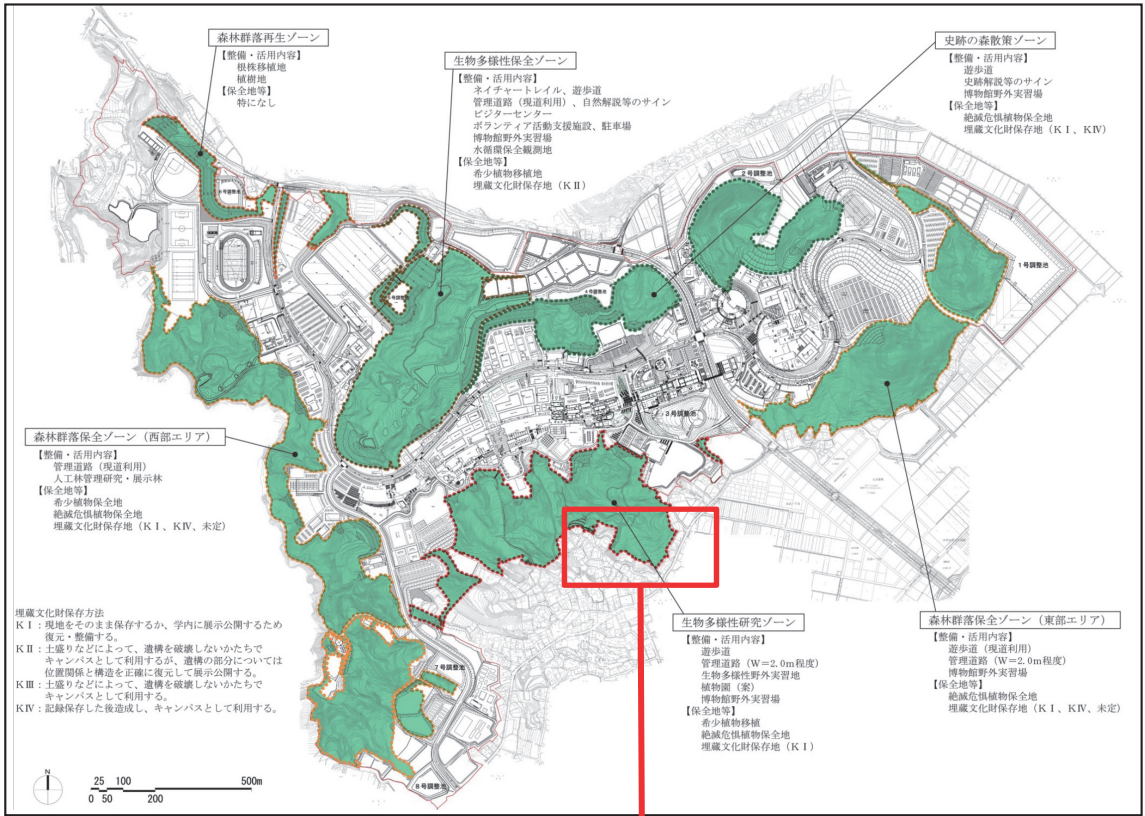
代金は、請負者の適法な請求書を受領した日の属する月の翌月の末日までに、九州大学財務部経理課から支払うものとする。

#### 7. 作業概要および留意事項

- 1) 平成 20 年度に吸収移行型除草剤で枯死させたマダケ立竹や倒伏竹を伐採する。伐採した竹類は、稈部および枝葉部を 3m 前後に切ってキャンパス内の所定の場所に集積する。
- 2) 作業箇所が民家に隣接するので、民家への事前対応を要する。
- 3) 本業務の目的が竹林の樹林化にあることを踏まえ、枯れ竹林内に生育する常緑樹の実生苗については極力保存に努めること。
- 4) 工事中に生じた事情等により、仕様書に添付する工事区域図からの変更があった場合は、工事完了時に出来形図を提出すること。

#### 8. 本作業について、不明な点は係員の指示に従い作業を行うものとする。

付図 工事箇所位置図および区域図



## ②仕様書例 2（吸収移行型除草剤注入）

# 仕 様 書

### 1. 工 事 名

森林群落保全ゾーン・東部エリア（第Ⅱ工区）吸収移行型除草剤による竹類駆除

### 2. 工事場所

九州大学伊都キャンパス森林群落保全ゾーン・東部エリア（第Ⅱ工区）（付図参照）

### 3. 工事数量

薬剤注入 14,000 m<sup>2</sup>

### 4. 完了期限

平成 24 年 3 月 31 日

### 5. 契約事項

九州大学が定めた契約基準による。

### 6. 代金の支払い

代金は、請負者の適法な請求書を受理した日の属する月の翌月の末日までに、九州大学財務部経理課から支払うものとする。

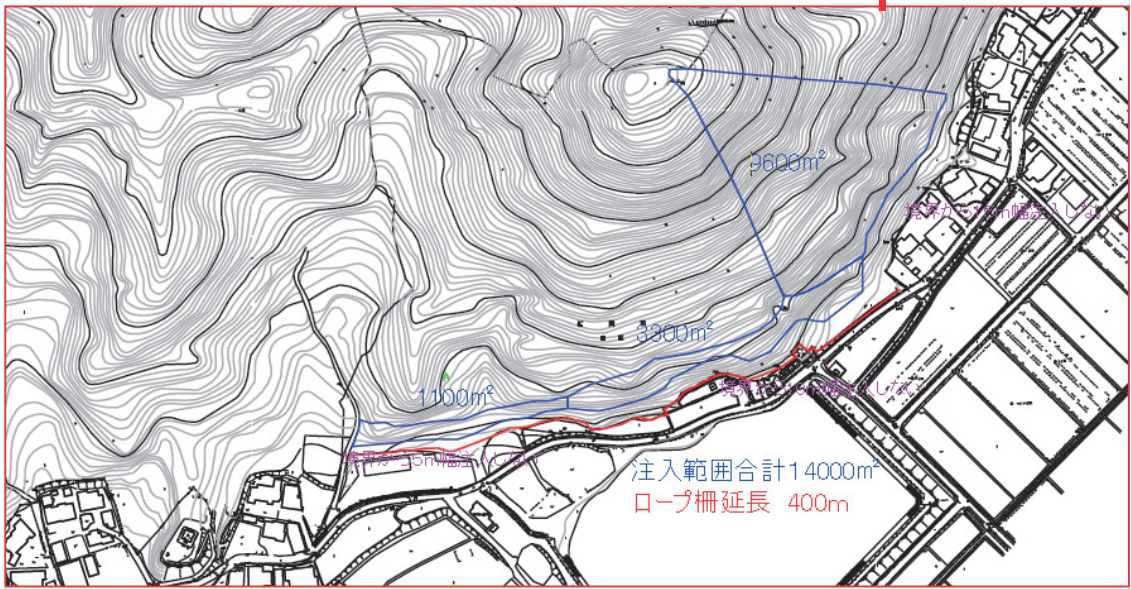
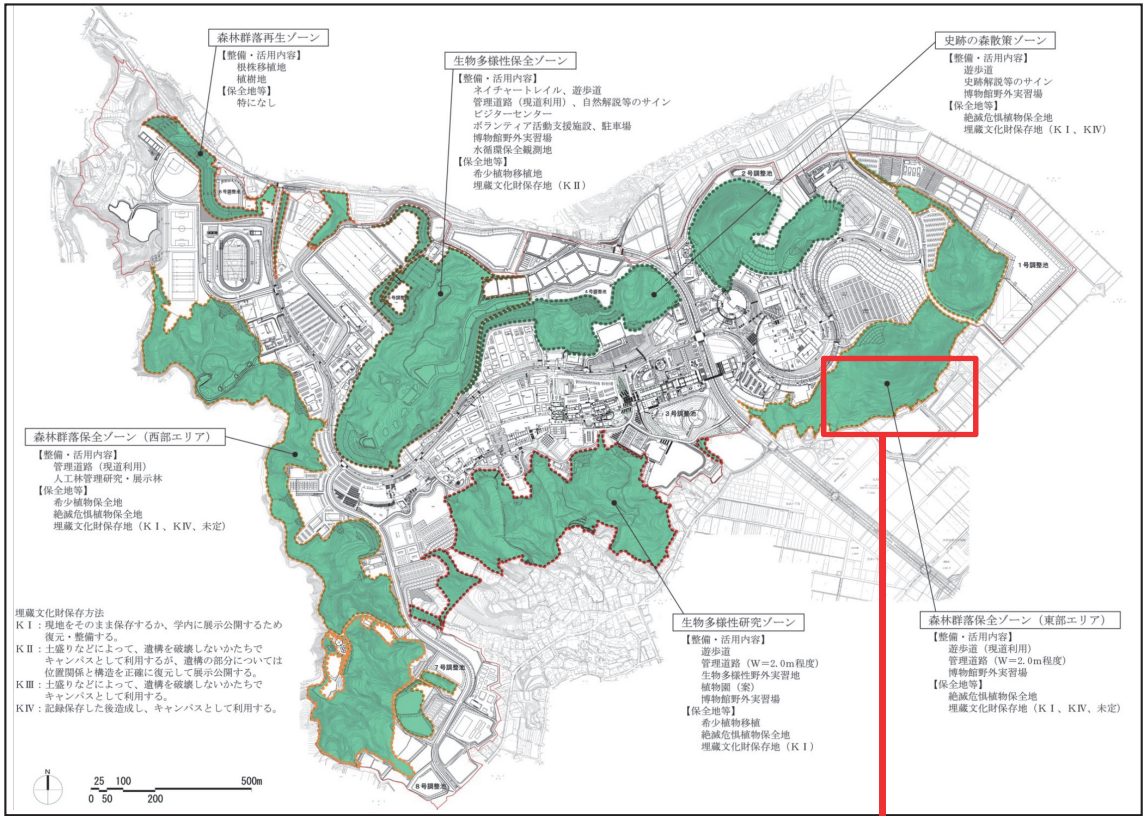
### 7. 作業概要および留意事項

- 1) 竹の地上 0.3～0.5m の位置に 7mm 程度の穴を開け、ラウンドアップマクスロード原液を竹の直径 1cm 当たり 1cc 注入して、粘着テープで穴を塞ぐ。
- 2) 公道に近く一般市民が侵入しやすい箇所では、人止めロープ等を用いて注意を喚起すること。
- 3) 民地との境界部から幅 15m は薬剤を注入しないこと。
- 4) 処理対象竹林内の樹木を傷つけないよう留意すること。
- 5) 工事中に生じた事情等により、仕様書に添付する工事区域図からの変更があった場合は、工事完了後に出来形図を提出すること。

### 8. 本作業について、不明な点は係員の指示に従い作業を行うものとする。



付図 工事箇所位置図および区域図



### ③仕様書例3（作業道開設）

## 仕 様 書

#### 1. 工 事 名

生物多様性研究ゾーン伐竹および作業道開設

#### 2. 工事場所

九州大学伊都キャンパス生物多様性研究ゾーン（付図参照）

#### 3. 工事数量

伐竹 1,350 m<sup>2</sup>

作業道 幅 2.5～3.0m 長 320m

横断管渠（径 30cm、長 6m）2カ所

素掘り側溝 110m

支障木(低木)移植 15本

#### 4. 完了期限

平成 24 年 3 月 20 日

#### 5. 契約事項

九州大学が定めた契約基準による。

#### 6. 代金の支払い

代金は、請負者の適法な請求書を受理した日の属する月の翌月の末日までに、九州大学財務部経理課から支払うものとする。

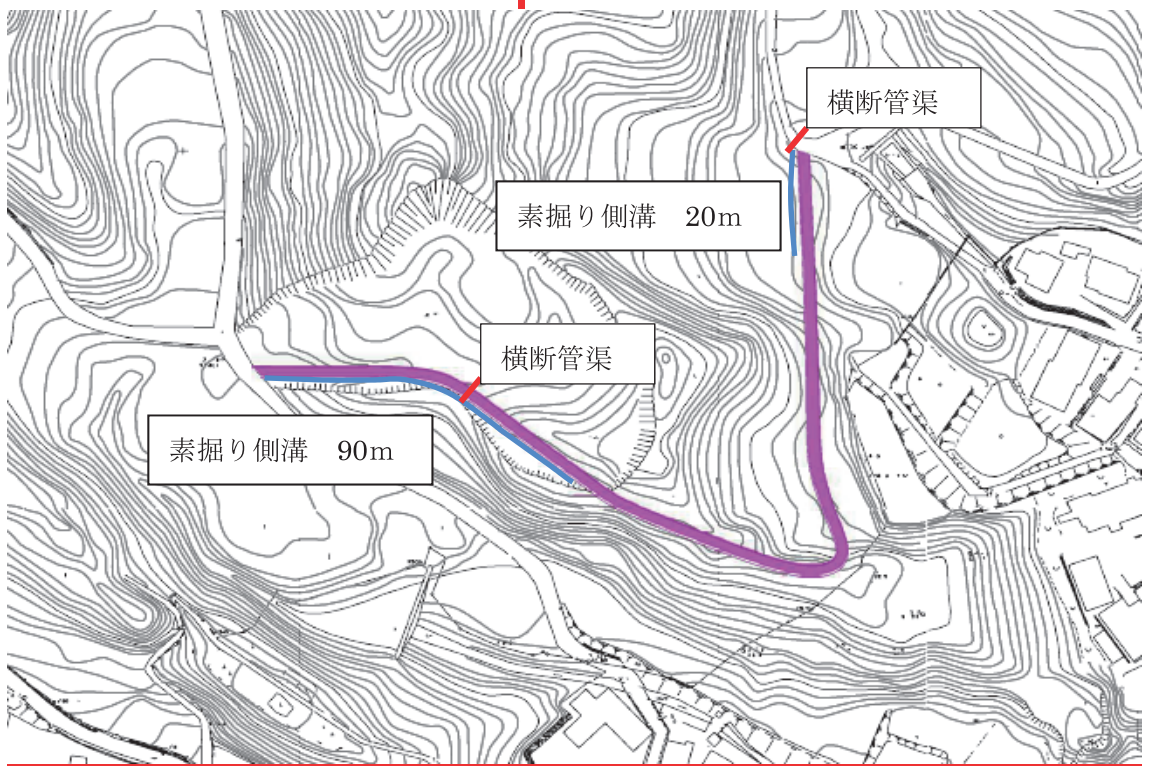
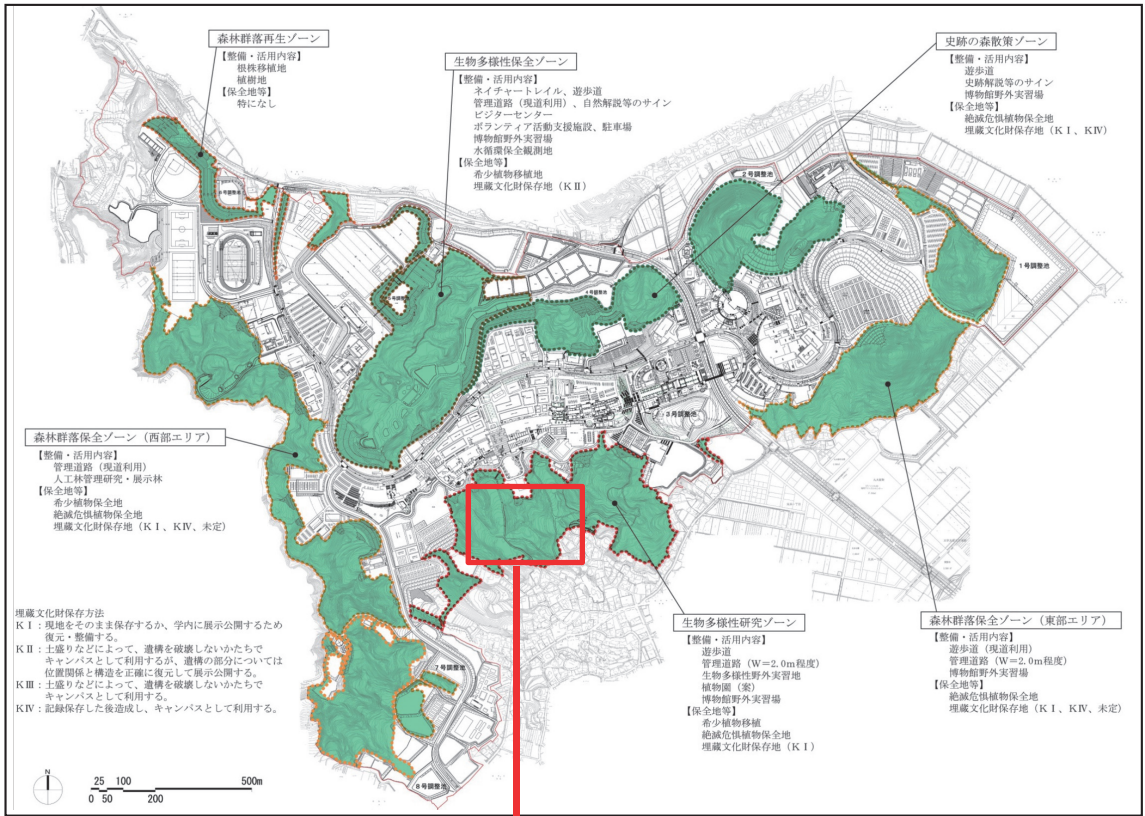
#### 7. 作業概要

- 1) 伐採した竹類は、稈部および枝葉部を 3m 前後に切ってキャンパス内の所定の場所に集積すること。
- 2) 作業の支障となる林内の低木類 15 本については、近傍、もしくは生物多様性保全ゾーンの指示する場所に移植すること。
- 3) 工事中および工事後において、大学敷地外の民地に土砂が流出することのないよう適切な処置を講ずること。
- 4) 保残する樹木を傷つけないよう留意すること。
- 5) この仕様書に添付する路線図は概略の線形を示すものであり、現場変更もありうるので係員と良く打ち合わせる。また、工事完了後に出来形を測量して、線形をベース図に落として提出すること。

#### 8. 本作業について、不明な点は係員の指示に従い作業を行うものとする。



付図 工事箇所位置図および路線図



#### ④その他の工事における特記事項（作業概要）の既往例

##### モウソウチク、マダケ混交竹林の伐採および破碎

- 1) マダケおよびモウソウチクを伐採し、マダケについては、場内で粉碎処理もしくは場外搬出、モウソウチクについては、稈部は 3m 前後に玉切りして場内に集積し、枝葉部は場内で粉碎処理すること。
- 2) クズの繁茂する草地の刈り払いを行うこと。刈りクズは場内に残し置いて構わない。
- 3) 地形整形にかからない箇所には生育する低木類は保存すること。

##### マダケ林間伐

- 1) マダケを伐採し、稈部および枝葉部は 4m 前後に切って場内に集積すること。
- 2) 林内に稚樹が全くない箇所は 80～90%程度の強間伐とするか、もしくはパッチ状に 10～20%の稈を残すこと。この場合でも全伐採量は全量の 90%を下回らないようにすること。
- 3) 集積は、稚樹の無い箇所を選び、出来るだけ底面積を小さくするよう努めながら、稈が等高線と平行になる方向にして積み上げること。
- 4) 竹林内の樹木を傷めないように注意して作業を行うこと。

##### 高木移植地クズ類刈り払いおよび枯損木伐採処理

- 1) 繁茂するクズを地際で刈り払うと共に健全樹木および、支えワイヤーに巻き登った蔓をできる限り除去すること。
- 2) 刈りクズは場内処理とする。
- 3) 指定する枯損木を伐採し、支えワイヤーを除去すること。
- 4) ワイヤー等金属類は搬出処理すること。
- 5) 伐採木は 1m 程度に切断して場内の係員が指示する箇所に集積すること。
- 6) 係員が指示するその他の軽微な関連作業を行うこと。



## Ⅱ. 工事完了報告書の様式（工事完了報告書鑑）

平成 年 月 日

### 工 事 完 了 報 告 書

国立大学法人九州大学 様

（所在地）  
（会社名）  
（代表者名）  
（電話番号）

印

平成 年 月 日付契約に基づく、＜工事件名＞工事が、完了しましたので、必要書類を添付して報告します。

完了年月日 平成 年 月 日

（添付書類）※

工事写真（施工前，施工中，施工後） 1冊

出来形図 ○葉

出来形数量表 ○枚

得られた知見、今後の工事への提案 1部

※：「工事写真」は必須。「得られた知見、今後の工事への提案」は随意。その他、仕様書で指示されたもの。添付するもののみを記入すること。

### Ⅲ. 年度当初に作成する「前年度の実績と当該年度の管理作業計画」作成要領

#### 1. 前年度の管理作業実績のとりまとめ

- ・前年度当初の状況、前年度の作業箇所と数量を、図と表でとりまとめる。
- ・各作業の完了報告で出された、工事写真、完了写真等を1件に纏めてファイルにする。
- ・管理作業上の課題、効率化のための提案があればとりまとめる。

#### 2. 当該年度管理作業計画の策定

- ・保全緑地管理計画に基づき、大学が指示する管理作業について、予算の範囲内で管理作業計画を策定する。
- ・1作業ロットごとに、位置図、作業種、作業数量、概算見積を作成する。
- ・個別の管理作業において、保全緑地管理計画に例示された標準仕様以外の特記的事項があれば、併せて記載する。